



レクチャー会 /



ドキドキの試写会



背伸びした映像ではなく、わたしたちの暮らしの中にある幸せを伝えたい

町制施行70周年を機に、これまでになくPR動画を制作しようと大手映像制作会社「ロボット」のプロデューサーにて住民参加型の動画制作企画がスタート。およそ一年間にわたった「SUEプロモーション会議」では、伝えるとは何か、どのような須恵町を発信したいか共に考え、撮影・レクチャー会を重ね、より人に届く映像について技術や想いを高め合いました。背伸びした映像ではなく、須恵町のリアルな幸せが伝わる映像、この町に暮らす自分たちにしか撮れない映像にこだわり完成したPR動画は、これから町のさまざまなPRに活用されます。

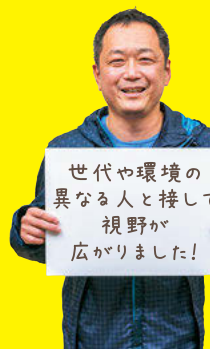
吉村 彩里さん

竹田 葵さん

好 仙一さん

内海 陽子さん

井崎 壽さん



メンバーの
想い

プロデューサーからみた 須恵町PR動画の見どころ



何よりすごいのは、プロの僕たちでは撮れない映像が撮れているということです。映像には被写体との距離感や撮影者のモノの見方が反映されるので、プロのカメラマンでも、こんなに生き生きとした、リラックスした、生々しい、素の表情はほとんど撮ることができません。普通ではできない味のある作品にできたと思います。

住民参加型プロモーション動画
(株)ロボット プロデューサー
柳井 研さん

思いのつまった PR動画が完成



福岡県須恵町 PR 動画「毎日が、なんだか心地いい」。コピーにもプロモーションメンバーの思いが詰まっています。須恵町公式ホームページ、YouTube にて公開中です。



町制施行 70 周年記念特別企画

わたしたちが つくる

PR 動画

SUE プロモーション会議

14 歳～74 歳のメンバーでつくった
PR 動画サクセスストーリー

